

科目一覧(曜日・時限順)

2026年度春学期

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
月	2	14	宗教社会学 I	熊田 一雄	5	日進
		15	宗教と民俗文化 I	小林 奈央子	5	日進
月	3	16	宗教文化史 I	小林 奈央子	5	日進
		82	マクロ経済学 I	吉岡 努	3	名城公園
		83	マクロ経済学 I	吉田 雅彦	5	名城公園
月	4	1	言語学 I	三宅 俊浩	5	日進
		17	現代社会と宗教 I	伊藤 雅之	5	日進
		77	先端医療概論	伊藤高行、伊藤泰広	10	日進
火	2	22	仏典講読 I	石田 尚敬	10	日進
		23	禅の思想 I－I	清野 宏道	10	日進
		43	古典文学研究 I	川名 淳子	10	日進
		44	考古学概説 I	長井 謙治	5	日進
		78	産官学連携講座 I	松岡 昌幸	5	日進
		86	計量経済学A	渡邊 隆俊	5	名城公園
火	3	3	ドイツ語会話 I	三宅 恭子	15	日進
		45	仏教の歴史I	松浦 史明	15	日進
火	4	46	仏教美術I	松浦 史明	15	日進
		87	ミクロ経済学I	王 嘉陽	3	名城公園
		88	ミクロ経済学 I	三好向洋	2	名城公園
水	2	6	HistoricalAffairs	スミス キャメロン	15	日進
		51	日本民俗学I	蛸島 直	5	日進
		52	国際関係史 I	門間 卓也	10	日進
水	3	26	仏典講読 I	河合 泰弘	5	日進
		53	東洋史概説 I	松下 憲一	15	日進

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
水	3	54	日本史特殊研究A－ I	松園 齊	10	日進
		93	国際金融論A	水野 伸昭	3	名城公園
水	4	55	アジアのなかの日本文化I	平野 克典	10	日進
		56	地域史特殊研究C－ I	松島 周一	10	日進
		57	言語と文化 I	三木 理	5	日進
		94	経済学特講IV	池上 彰	15	名城公園
木	1	28	日本仏教の思想 I	菅原 研州	10	日進
		65	イギリス文学研究a	星 久美子	5	日進
		76	スポーツ心理学	石田 光男	10	日進
木	2	7	日本語学 I	多門 靖容	5	日進
		29	宗教心理学 I	伊藤 雅之	5	日進
		80	西洋経済史A	掘井 誠史	5	名城公園
木	3	8	BusinessEnglisha	柴田 篤志	2	日進
		30	中国仏教の思想 I	大松 久規	10	日進
		31	宗教心理学 I	熊田 一雄	5	日進
		32	禅語録講読 I	清野 宏道	10	日進
		66	東洋史特殊講義B- I	玉置 文弥	10	日進
		67	地域宗教文化III-I	松浦 史明	15	日進
木	4	9	第2言語習得論	上田 恒雄	5	日進
		33	インド仏教の思想 I	石田 尚敬	15	日進
金	2	40	宗教教理学 I	小林 奈央子	5	日進
		71	日本文化史 I	下川 玲子	10	日進
		72	アメリカ文化特講Ia	高木 真理子	5	日進

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
金	3	12	英語研究特講Ia	前田 満	5	日進
		96	公共経済学A	岡谷 良二	3	名城公園

授業時間帯

【日進キャンパス】

1時限	9:30~11:00	9:00~10:30
2時限	11:10~12:40	10:40~12:10
3時限	13:30~15:00	13:10~14:40
4時限	15:10~16:40	14:50~16:20
5時限	16:50~18:20	16:30~18:00

【名城公園キャンパス】

科目一覧(曜日・時限順)

2026年度秋学期

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
月	2	18	宗教社会学Ⅱ	熊田 一雄	5	日進
		19	宗教と民俗文化Ⅱ	小林 奈央子	5	日進
月	3	20	宗教文化史Ⅱ	小林 奈央子	5	日進
		84	マクロ経済学Ⅱ	吉岡 努	3	名城公園
		85	マクロ経済学Ⅱ	吉田 雅彦	5	名城公園
月	4	2	言語学Ⅱ	三宅 俊浩	5	日進
		21	現代社会と宗教Ⅱ	伊藤 雅之	5	日進
		42	古文書学Ⅱ	中川 すがね	5	日進
火	2	4	言語・文化と教育入門	藤田 賢	5	日進
		24	仏典講読Ⅱ	石田 尚敬	10	日進
		25	禅の思想Ⅰ-Ⅱ	清野 宏道	10	日進
		47	考古学概説Ⅱ	加藤 一郎	5	日進
		48	古典文学研究Ⅱ	川名 淳子	10	日進
		79	産官学連携講座Ⅱ	松岡 昌幸	5	日進
		89	計量経済学B	渡邊 隆俊	5	名城公園
		5	ドイツ語会話Ⅱ	三宅 恭子	15	日進
火	3	49	仏教の歴史Ⅱ	松浦 史明	15	日進
		90	ファイナンス論	水野 伸昭	3	名城公園
		50	仏教美術Ⅱ	松浦 史明	15	日進
火	4	91	ミクロ経済学Ⅱ	王 嘉陽	3	名城公園
		92	ミクロ経済学Ⅱ	三好 向洋	2	名城公園
		58	アジアのなかの日本文化Ⅱ	小崎 智則	15	日進
水	1	59	国際関係史	杉山知子	5	日進
		60	英語研究特講Ⅱb	野口 朋香	5	日進

曜日	時限	講義番号	科目名	担当者	募集人数	キャンパス
水	2	61	日本民俗学II	蛸島 直	5	日進
		27	仏典講読Ⅱ	河合 泰弘	5	日進
水	3	62	日本史特殊研究A-Ⅱ	松園 齊	10	日進
		95	国際金融論B	水野 伸昭	3	名城公園
水	4	63	地域史特殊研究C-Ⅱ	松島 周一	10	日進
		64	言語と文化Ⅱ	三木 理	5	日進
木	1	34	日本仏教の思想Ⅱ	菅原 研州	10	日進
		68	イギリス文学研究b	星 久美子	5	日進
木	2	10	日本語学Ⅱ	多門 靖容	5	日進
		35	宗教心理学Ⅱ	伊藤 雅之	5	日進
		81	西洋経済史B	掘井 誠史	5	名城公園
木	3	11	BusinessEnglishb	柴田 篤志	2	日進
		36	中国仏教の思想Ⅱ	大松 久規	10	日進
		37	宗教心理学Ⅱ	熊田 一雄	5	日進
		38	禅語録講読Ⅱ	清野 宏道	10	日進
木	4	69	東洋史特殊講義B-Ⅱ	玉置 文弥	10	日進
		70	地域宗教文化III-II	松浦 史明	15	日進
		39	インド仏教の思想Ⅱ	石田 尚敬	15	日進
金	2	41	宗教教理学Ⅱ	小林 奈央子	5	日進
		73	日本文化史Ⅱ	下川 玲子	10	日進
		74	アメリカ文化特講Ib	高木 真理子	5	日進
金	3	13	英語研究特講 I b	前田 満	5	日進
		97	公共経済学B	岡谷 良二	3	名城公園
金	4	75	大衆文化論	松崎 博	5	日進

科目一覧(曜日・時限順)

2026年度秋学期

授業時間帯

【日進キャンパス】

1時限	9:30~11:00
2時限	11:10~12:40
3時限	13:30~15:00
4時限	15:10~16:40
5時限	16:50~18:20

【名城公園キャンパス】

9:00~10:30
10:40~12:10
13:10~14:40
14:50~16:20
16:30~18:00

科目一覧(ジャンル別)

言語

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
1	言語学Ⅰ	なし	三宅 俊浩	春	月	4	5	日進
2	言語学Ⅱ	なし	三宅 俊浩	秋	月	4	5	日進
3	ドイツ語会話Ⅰ	※イツ語の日常会話の運用能力の養成	三宅 恭子	春	火	3	15	日進
4	言語・文化と教育入門	第二言語習得・応用心理言語学	藤田 賢	秋	火	2	5	日進
5	ドイツ語会話Ⅱ	※イツ語の日常会話の運用能力の養成	三宅 恭子	秋	火	3	15	日進
6	Historical Affairs	This is a Content and Language Integrated Learning Course (内容言語統合型学習). In this course, we study historical events in English while studying English language. Students also give presentations on chosen topics. Students will therefore improve both their English and their knowledge of world events.	スミス キャメロン	春	水	2	15	日進
7	日本語学Ⅰ	ことばの仕組みを考える。	多門 靖容	春	木	2	5	日進
8	Business English a	ビジネスで使える生きた英語を学ぶ	柴田 篤志	春	木	3	2	日進
9	第2言語習得論	What is Second Language Acquisition?	上田 恒雄	春	木	4	5	日進
10	日本語学Ⅱ	ことばの仕組みを考える。	多門 靖容	秋	木	2	5	日進
11	Business English b	ビジネスで使える生きた英語を学ぶ	柴田 篤志	秋	木	3	2	日進
12	英語研究特講Ia	言語と社会	前田 満	春	金	3	5	日進
13	英語研究特講Ib	言語とコミュニケーションの仕組み	前田 満	秋	金	3	5	日進
14	宗教社会学Ⅰ	宗教と社会の相関関係	熊田 一雄	春	月	2	5	日進

宗 教

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
15	宗教と民俗文化 I	私たちの身近にある民俗宗教①	小林 奈央子	春	月	2	5	日進
16	宗教文化史 I	神話の世界へようこそ①	小林 奈央子	春	月	3	5	日進
17	現代社会と宗教 I	宗教とスピリチュアリティへのアプローチ	伊藤 雅之	春	月	4	5	日進
18	宗教社会学 II	宗教と社会の相関関係	熊田 一雄	秋	月	2	5	日進
19	宗教と民俗文化 II	私たちの身近にある民俗宗教②	小林 奈央子	秋	月	2	5	日進
20	宗教文化史 II	神話の世界へようこそ②	小林 奈央子	秋	月	3	5	日進
21	現代社会と宗教 II	宗教共同体とユダヤ・キリスト教文化	伊藤 雅之	秋	月	4	5	日進
22	仏典講読 I	『法顯伝(仏国記)』を読む	石田 尚敬	春	火	2	10	日進
23	禅の思想 I – I	鎌倉仏教と道元の関係について学ぶ	清野 宏道	春	火	2	10	日進
24	仏典講読 II	『法顯伝(仏国記)』を読む	石田 尚敬	秋	火	2	10	日進
25	禅の思想 I – II	道元禅師の基本思想について学ぶ	清野 宏道	秋	火	2	10	日進
26	仏典講読 I	祖堂集を読む(1)	河合 泰弘	春	水	3	5	日進
27	仏典講読 II	祖堂集を読む(2)	河合 泰弘	秋	水	3	5	日進
28	日本仏教の思想 I	日本仏教の思想について各宗派の文献を読む。	菅原 研州	春	木	1	10	日進
29	宗教心理学 I	ヨーガとマインドフルネスの展開	伊藤 雅之	春	木	2	5	日進
30	中国仏教の思想 I	『法華玄義』を読む	大松 久規	春	木	3	10	日進
31	宗教心理学 I	現代日本の宗教心理複合運動	熊田 一雄	春	木	3	5	日進
32	禅語録講読 I	禅宗祖師のさとりの境界に触れる	清野 宏道	春	木	3	10	日進
33	インド仏教の思想 I	インド仏教の思想を学ぶ	石田 尚敬	春	木	4	15	日進
34	日本仏教の思想 II	日本仏教の思想を学ぶため各時代を代表する文献を学ぶ。	菅原 研州	秋	木	1	10	日進
35	宗教心理学 II	「幸せ」を科学するアプローチ	伊藤 雅之	秋	木	2	5	日進
36	中国仏教の思想 II	『法華玄義』を読む	大松 久規	秋	木	3	10	日進
37	宗教心理学 II	現代日本の宗教心理複合運動	熊田 一雄	秋	木	3	5	日進

38	禅語録講読Ⅱ	語録と禅話の発展について学ぶ	清野 宏道	秋	木	3	10	日進
39	インド仏教の思想Ⅱ	インド大乗仏教の思想を学ぶ	石田 尚敬	秋	木	4	15	日進
40	宗教教理学Ⅰ	宗教をどう理解するか—「アブラハムの宗教」における宗教教理	小林 奈央子	春	金	2	5	日進
41	宗教教理学Ⅱ	宗教をどう理解するか—アジアの宗教における宗教教理	小林 奈央子	秋	金	2	5	日進

文化・歴史

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
42	古文書学Ⅱ	日本近世の古文書を探す・読む	中川 すがね	秋	月	4	5	日進
43	古典文学研究Ⅰ	王朝の和歌を読む	川名 淳子	春	火	2	10	日進
44	考古学概説Ⅰ	考古学概説Ⅰ	長井 謙治	春	火	2	5	日進
45	仏教の歴史Ⅰ	ざっくり学ぶ仏教史の流れ	松浦 史明	春	火	3	15	日進
46	仏教美術Ⅰ	仏教を伝えるためのイメージとメッセージ	松浦 史明	春	火	4	15	日進
47	考古学概説Ⅱ	考古学の基本と考古学による日本歴史	加藤 一郎	秋	火	2	5	日進
48	古典文学研究Ⅱ	王朝の和歌を読む	川名 淳子	秋	火	2	10	日進
49	仏教の歴史Ⅱ	仏教史を学ぶための資料と考え方	松浦 史明	秋	火	3	15	日進
50	仏教美術Ⅱ	仏教図像から見えてくるグローバルとローカル	松浦 史明	秋	火	4	15	日進
51	日本民俗学Ⅰ	身の回りの諸習慣の意味を読み解こう。	蛸島 直	春	水	2	5	日進
52	国際関係史Ⅰ	20世紀論としての「平和学」	門間 卓也	春	水	2	10	日進
53	東洋史概説Ⅰ	遊牧民から見た古代中国史	松下 憲一	春	水	3	15	日進
54	日本史特殊研究A-Ⅰ	中世天皇制の諸問題	松園 齊	春	水	3	10	日進
55	アジアのなかの日本文化Ⅰ	日本文化に溶け込んだインドの文化	平野 克典	春	水	4	10	日進
56	地域史特殊研究C-Ⅰ	南北朝・室町時代の東海・関東	松島 周一	春	水	4	10	日進
57	言語と文化Ⅰ	日本語の語彙(基礎編)	三木 理	春	水	4	5	日進
58	アジアのなかの日本文化Ⅱ	日本における漢字・漢文・漢学の受容	小崎 智則	秋	水	1	15	日進
59	国際関係史	20世紀の戦争と平和を振り返る	杉山知子	秋	水	1	5	日進
60	英語研究特講Ⅱb	非言語コミュニケーションの役割について考える	野口 朋香	秋	水	1	5	日進
61	日本民俗学Ⅱ	日本の口承文芸や俗信を考える。	蛸島 直	秋	水	2	5	日進
62	日本史特殊研究A-Ⅱ	歴史学の立場から絵巻物を読み解く	松園 齊	秋	水	3	10	日進
63	地域史特殊研究C-Ⅱ	戦国期尾張・三河の合戦史	松島 周一	秋	水	4	10	日進

64	言語と文化Ⅱ	日本語の語彙(ケーススタディ)	三木 理	秋	水	4	5	日進
65	イギリス文学研究a	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19世紀まで)	星 久美子	春	木	1	5	日進
66	東洋史特殊講義B- I	1920年代から1930年代の日中関係と宗教運動	玉置 文弥	春	木	3	10	日進
67	地域宗教文化III-I	東南アジアの歴史と宗教I	松浦 史明	春	木	3	15	日進
68	イギリス文学研究b	イギリス文学を通して学ぶ歴史と文化(19世紀以降から現代まで)	星 久美子	秋	木	1	5	日進
69	東洋史特殊講義B- II	近現代日中におけるアジア主義	玉置 文弥	秋	木	3	10	日進
70	地域宗教文化III-II	東南アジアの歴史と宗教II	松浦 史明	秋	木	3	15	日進
71	日本文化史 I	日本近代の女性解放の思想	下川 玲子	春	金	2	10	日進
72	アメリカ文化特講Ia	多エスニック・多文化社会ハワイにおける「共生」の意味を探る	高木 真理子	春	金	2	5	日進
73	日本文化史 II	日本近代の民主主義思想の形成	下川 玲子	秋	金	2	10	日進
74	アメリカ文化特講Ib	「アジア系」アメリカ人の経験を通してみるアメリカ社会: 寛容な社会をめざして	高木 真理子	秋	金	2	5	日進
75	大衆文化論	ブロードウェイミュージカル: アメリカ社会を映し出す鏡	松崎 博	秋	金	4	5	日進
80	西洋経済史A	中・近世のヨーロッパ経済の発展について	掘井 誠史	春	木	2	5	名城公園
81	西洋経済史B	近・現代のヨーロッパ経済の発展について	掘井 誠史	秋	木	2	5	名城公園

心 理

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
76	スポーツ心理学	身体運動における心の情報処理過程	石田 光男	春	木	1	10	日進

健 康

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
77	先端医療概論	生命科学の進歩とそれが医療に新たにたらすもの	伊藤高行、伊藤泰広	春	月	4	10	日進

経済

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
82	マクロ経済学Ⅰ	IS-LMモデルまでのマクロ経済学入門	吉岡 努	春	月	3	3	名城公園
83	マクロ経済学Ⅰ	マクロ経済学の基礎理論	吉田 雅彦	春	月	3	5	名城公園
84	マクロ経済学Ⅱ	経済政策に関する基本的なマクロ経済理論	吉岡 努	秋	月	3	3	名城公園
85	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済政策の効果	吉田 雅彦	秋	月	3	5	名城公園
86	計量経済学A	計量経済学の基礎を学ぼう－その1－	渡邊 隆俊	春	火	2	5	名城公園
87	ミクロ経済学I	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王 嘉陽	春	火	4	3	名城公園
88	ミクロ経済学I	市場の理論の基礎	三好向洋	春	火	4	2	名城公園
89	計量経済学B	計量経済学の基礎を学ぼう－その2－	渡邊 隆俊	秋	火	2	5	名城公園
90	ファイナンス論	パーソナル・ファイナンスを学ぶ	水野 伸昭	秋	火	3	3	名城公園
91	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学の基礎から学ぼう	王 嘉陽	秋	火	4	3	名城公園
92	ミクロ経済学Ⅱ	消費者行動と生産者行動の分析	三好 向洋	秋	火	4	2	名城公園
93	国際金融論A	国際金融の基礎を学ぶ1	水野 伸昭	春	水	3	3	名城公園
94	経済学特講IV	日本と世界の情勢をニュースから読む	池上 彰	春	水	4	15	名城公園
95	国際金融論B	国際金融の基礎を学ぶ2	水野 伸昭	秋	水	3	3	名城公園
96	公共経済学A	公共財のある経済の分析	岡谷 良二	春	金	3	3	名城公園
97	公共経済学B	外部性のある経済の分析	岡谷 良二	秋	金	3	3	名城公園

その他の講義

講義番号	科目名	副題	担当者	学期	曜日	時限	募集人数	キャンパス
78	産官学連携講座Ⅰ	地域の観光まちづくり(持続可能な観光のカタチを共創)	松岡 昌幸	春	火	2	5	日進
79	産官学連携講座Ⅱ	グランドスタッフおよび貨物関連産業の実務とマネジメント	松岡 昌幸	秋	火	2	5	日進

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
57	春	文化・歴史	言語と文化 I		三木 理	水	4	5

【副題】

日本語の語彙(基礎編)

開講キャンパス

日進

【講義内容】

ことばの研究に関しては様々な分野がありますが、この授業では語彙論の分野に立って日本語の語彙について学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本語の個々の語について、様々な例を採り上げながら、構造と意味の両面から考察していく予定です。単に「単語をたくさん覚える」ということよりも、単語を違った視点から考察することや、その成り立ちや意味に興味を惹かれる皆さんとの聴講を歓迎します。

教科書は使用しません。各回の授業資料は事前に Teams にアップロードします。

事前のガイダンス等において、Microsoft Teams の操作への習熟をお願いいたします。学期中は、大学のサポートデスクもご活用下さい。(Teams に関して、教師と学生とでは画面や操作法が異なる場合があるため、皆さんの質問に十分に対応できない可能性があります。)

【パソコンの利用方法】

Microsoft Teams、WebCampus の利用。

【Microsoft Teams の利用方法】

講義資料の配信;課題・レポート等の配信;チャット(教員への連絡手段のひとつとしてオフィスアワーに記載している);

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない;

講義番号	学期	ジャンル	科目名		担当者	曜日	時限	人数
58	秋	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 II		小崎 智則	水	1	15

【副題】

日本における漢字・漢文・漢学の受容

開講キャンパス

日進

【講義内容】

本授業は、漢字の起源(甲骨文)から日本への伝来をたどり、漢文に関しては平安時代の『白氏文集』の影響や、『和漢朗詠集』を通じた中国説話の軍記物への応用を、漢学としては江戸期における朱子学・陽明学などの儒教の独立した展開を概観し、近代の訓読体や新漢語の成立と、その役割までを論じます。最後に朝鮮半島・ベトナムでの漢字・漢文の受容状況と比較します。

【パソコンの利用方法】

授業では使用しない。

【Microsoft Teams の利用方法】

授業では使用しない;

【WebCampus の利用方法】

授業では使用しない;

